

「SDGs 時代における科学技術のあり方—ブダペスト宣言から 20 年—」

第 1 回全体研究会

日時： 2018 年 10 月 19 日（金）10：00～12：00 ※12:00 以降昼食を兼ねた打合せ

場所： JST 東京別館 4 階 会議室 G

出席者：（敬称略）

代表者 有本 建男	国際高等研究所副所長、政策研究大学院大学教授
大竹 暁	科学技術振興機構研究開発戦略センター客員フェロー、 東京大学政策ビジョン研究センター客員教授
隠岐 さや香	名古屋大学大学院経済学研究科教授（スカイプ）
狩野 光伸	岡山大学副理事・大学院医歯薬学総合研究科副研究科長・教授
小寺 秀俊	理化学研究所理事
駒井 章治	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科准教授
宮野 公樹	京都大学学際融合教育研究推進センター准教授

国際高等研究所事務局

三石 祥子 森口 有加里

- 議題：
1. 最近の高等研の動き
 2. 21 世紀研究会第 2 期の構想
 - ・若手研究者のハブ、プラットフォーム
 - ・関連の組織との連携の拡大
 - 理研、学融合センター、CRDS, SciREX、思修館、RISTEX、
 - 学術協力財団・「科学者の集まり」の動き（駒井プロジェクト）、「臨床の学問」
 - ・ブダペスト宣言の再考：インタビュー・講演の継続
 - 村上、吉川、黒田、佐藤貞一
 3. 人文・社会科学の推進・連携
 - ・文科省学術分科会の動き
 - ・CRDS の動き
 - 人社連携プロポーザルの完成、
 - OECD・GSF の trans-disciplinary research プロジェクトの開始
 - EU からの提案（「啓蒙 2.0」プロジェクト）
 4. 第 6 期科学技術基本計画（2021—）、
EU 次期科学技術政策 Horizon Europe（2021—）

- 資料：
1. 研究活動計画
 2. 「集合知プラットフォームの構築」提案書（案）
 3. 第 3 カテゴリーの科学の進め方

- 参考：
1. スマートエキスポ 2018：講演者 PPT
 2. 日本学術会議産学良縁創出企画
 3. WSF 2018 主テーマ steering committee 7.2018 プレス発表
 4. ESOF 2018 David_Mair presentation
 5. OECD GSF new project scoping transdisciplinary Research
 6. OECD GSF 次期テーマ候補 multi-disciplinary approach